

あべともこニュース

東日本大震災から13年。命を紡ぐ必要性。

◆難航する廃炉作業、いつまで…

7日、超党派「原発ゼロ・再エネ100の会」は、「東電1Fの廃炉進捗状況」をテーマに、ヒアリングを実施。今年で、東日本大震災の発生から13年を過ぎましたが、約40年と想定されている廃炉作業は難航を極めていきます。

昨年夏に開始された「ALPS処理水」の海洋放出、今年度4回目だが先月28日に始まりましたが、汚染水は増え続けるばかりで、海洋放出以外の対策は引き続き必須です。

一方、先月7日には、5.5トンものタンクの汚染水が漏れ、海への流出はなかったものの、土壌に染み込む事案が発生。さらには、いよいよデブリ取り出し作業が着手されようとしていた1号機内を調査するロボットに不具合が発生し、再度延期となりました。事故を起こした原発の廃炉は極めて困難。原発再稼働政策の前に、まずは原発事故の事実を直視すべきです。

◆ジェノサイドを許さず、即時停戦を！

6日、「超党派人間の安全保障外交の推進を考える議員有志の勉強会」は、国境なき医師団(MSF)中嶋優子代表をお招きして勉強会を開催。

中嶋さんは、昨年11月14日から12月7日までの約3週間、ガザ地区南部で医療活動に従事され、国内各地で、当時の状況、医療体制逼迫について伝える為、必死の努力をしています。同じくMSFの事務局長である村田慎二郎さんは、「援助を必要とする人に届く支援体制」を訴え、参加議員からも、UNRW A支援の再開の声が上がりました。

即時停戦に向けて国会決議を上げることにも確認されました。



左から村田氏。中嶋代表

◆女性の視点で、戦争回避を！

10日、立憲民主党神奈川県連ジェンダー平等推進委員会主催で前法政大 学学長の田中優子さんの戦争とジェンダー、「女性の視点で戦争回避を」の講演会を開催。

ジェンダーとは女性だけの問題ではなく、人権の問題としてあること、また人権とはいかなる人であっても生きて人生を全うする権利であると。女性らしさ、男性らしさ、或いは〇〇らしさという与えられた役割、らしさ、で認められるのではなく、個人として生きることを保障するのが人権といえます。

戦争に向かおうとする社会は、公共の利益や国家の利益を優先させます。障害者もハンセン病やエイズなどの感染症も、そうした考え方で社会から排除されてきました。改めて、ジェンダー平等とは、それぞれが自分らしく生きられる社会を作ること、それが戦争を回避することに繋がります。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県12区(藤沢市・寒川町) 当選8回、東京大学医学部卒業、小児科医、あべともこ子どもクリニック(湘南台)理事長 現在、厚生労働委員会 原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ
公式X (旧Twitter)
@abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこ後援会入会及び、ボランティアスタッフ募集



田中優子さんご講演